



平成 28 年 6 月 定例会

大館市議会会議録 (第 2 号)

自 平成 28 年 6 月 7 日 開会
自 平成 28 年 6 月 23 日 閉会

大 館 市 議 会

6月7日（火曜日）

第1日目

平成28年6月7日（火曜日）

議事日程第1号

平成28年6月7日（火曜日）

- 黙 禱（熊本地震について）
- 表彰状伝達（全国市議会議長会）
- 人事異動報告（議会事務局、当局）

開 会 午前10時13分

議長報告（文書）

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 議案等の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案等の上程

1. 報 第1号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
2. 報 第2号 平成27年度大館市一般会計繰越明許費繰越計算書
3. 報 第3号 平成27年度大館市都市計画事業特別会計繰越明許費繰越計算書
4. 報 第4号 平成27年度大館市下水道事業会計予算繰越計算書
5. 報 第5号 大館市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について
6. 報 第6号 一般財団法人大館市文教振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について
7. 報 第7号 株式会社県北環境保全センターの経営状況を説明する書類の提出について
8. 報 第8号 株式会社田代ふるさと振興公社の経営状況を説明する書類の提出について
9. 報 第9号 放棄した債権の報告について
10. 認 第3号 専決処分の承認について（大館市市税条例等の一部を改正する条例）

11. 認 第 4 号 専決処分の承認について（大館市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
12. 認 第 5 号 専決処分の承認について（平成27年度大館市一般会計補正予算（第11号））
13. 議案第 74 号 大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
14. 議案第 75 号 大館市エコプラザに関する条例の一部を改正する条例案
15. 議案第 76 号 大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
16. 議案第 77 号 大館市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
17. 議案第 78 号 財産の無償譲渡について（建物 粕田字粕田地内）
18. 議案第 79 号 財産の無償譲渡について（建物 柄沢字大沢山地内）
19. 議案第 80 号 財産の取得について（基幹業務用パソコン120台）
20. 議案第 81 号 和解及び損害賠償について
21. 議案第 82 号 字の区域の変更について
22. 議案第 83 号 平成28年度大館市一般会計補正予算（第1号）案
23. 議案第 84 号 平成28年度大館市財産区特別会計補正予算（第1号）案
24. 議案第 85 号 平成28年度大館市病院事業会計補正予算（第1号）案

出席議員（27名）

1 番	石 垣 博 隆 君	2 番	日 景 賢 悟 君
3 番	武 田 晋 君	4 番	小 畑 淳 君
5 番	虻 川 久 崇 君	6 番	中 村 弘 美 君
7 番	畠 沢 一 郎 君	8 番	伊 藤 毅 君
9 番	阿 部 文 男 君	10 番	小 棚 木 政 之 君
11 番	藤 原 明 君	12 番	田 村 儀 光 君
13 番	佐 藤 久 勝 君	14 番	仲 沢 誠 也 君
15 番	斉 藤 則 幸 君	16 番	小 畑 新 一 君
17 番	明 石 宏 康 君	19 番	吉 原 正 君
20 番	佐 藤 健 一 君	21 番	田 中 耕 太 郎 君
22 番	相 馬 エ ミ 子 君	23 番	岩 本 裕 司 君
24 番	佐 藤 眞 平 君	25 番	富 樫 孝 君
26 番	菅 大 輔 君	27 番	佐 藤 芳 忠 君

欠席議員（1名）

18番 佐々木 公 司 君

説明のため出席した者

市	長	福原 淳嗣 君
副 市	長	名村 伸一 君
総 務 部	長	北林 武彦 君
総 務 課	長	虻川 正裕 君
財 政 課	長	阿部 稔 君
市 民 部	長	成田 政則 君
福 祉 部	長	田村 正行 君
産 業 部	長	一関 雅幸 君
建 設 部	長	佐藤 伸雄 君
会 計 管 理 者	佐々木	修 君
病 院 事 業 管 理 者	佐々木	睦 男 君
市立総合病院事務局長	斎藤	進 君
消 防	長	佐藤 久仁 君
教 育	長	高橋 善之 君
教 育 次 長	安保	透 君
選挙管理委員会事務局長	小林	淳一 君
農業委員会事務局長	山口	由秀 君
監査委員事務局長	小林	浩 君

事務局職員出席者

事 務 局	長	花田 一美 君
次	長	畠 沢 昌人 君
係	長	長崎 淳 君
主	査	伊藤 雅孝 君
主	査	高橋 琢哉 君
主	査	北林 亘 君

午前10時13分 開 会

- 議長（仲沢誠也君） これより、平成28年6月大館市議会定例会を開会いたします。
- 出席議員は定足数に達しております。
- よって、直ちに本日の会議を開きます。
- 本日の議事は、日程第1号をもって進めます。
- 諸般の報告は、お手元に配付しております文書により御了承願います。

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（仲沢誠也君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
- 本定例会の会議録署名議員は、17番 明石宏康君、19番 吉原正君、20番 佐藤健一君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

- 議長（仲沢誠也君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
- お諮りいたします。
- 本定例会の会期は、本日から6月23日までの17日間と定めたいと思います。
- これに御異議ありませんか。
- 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
- 議長（仲沢誠也君） 御異議なしと認めます。
- よって、会期は本日から17日間と決定いたしました。
- なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております日程表のとおりでありますから、さよう御了承願います。

日程第3 議案等の上程

- 議長（仲沢誠也君） 日程第3、議案等の上程を行います。
- 報第1号から同第9号まで、認第3号から同第5号まで、及び議案第74号から同第85号までの以上24件を一括上程いたします。
- 提出者の説明を求めます。

〔市長 福原淳嗣君 登壇〕

- 市長（福原淳嗣君） 6月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、3月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

1、本庁舎建設事業の進捗状況について。

本年度の本庁舎建設事業については、基本設計や地積測量、オフィス環境調査などを実施す

ることとしており、これと並行しながら建設予定エリアの埋蔵文化財発掘調査や市民プールの解体を予定しているところであります。初めに、基本設計についてであります。委託業者を選定するため4月に条例に基づくプロポーザル審査委員会を設置いたしました。今回の委託については、床面積が5,000平方メートル以上の庁舎建設の実績がある企業と市内の企業との設計共同体への委託を想定し、5月12日から公募しましたところ実績のある企業から6者、市内企業から4者の応募があり、実績のある企業については1次審査を終了し、2次審査に進む5者を決定したところであります。また、8月下旬には技術提案に対するヒアリングを市民の皆様へ公開しながら実施する予定としておりますので、多数の御参加をお願い申し上げます。次に、埋蔵文化財発掘調査についてですが、建設予定エリアである東側職員駐車場にあった公用車庫を5月に解体し、今月から調査を開始いたしました。また、6月1日付で任期つき職員として専門的知識を有する埋蔵文化財専門員を採用しており、平成31年3月末までの任期で発掘調査や報告書の作成などの業務に従事することとしております。そのほか、地積測量調査・オフィス環境調査などについては8月までに発注する予定としており、市民プールにつきましてもことしの水泳シーズン終了後に解体の予定としておりますので、御理解・御協力をお願い申し上げます。

2、4月17日の強風による被害状況について。

4月17日の夜から18日の朝にかけ、北鹿地方では発達した低気圧の影響による強風に見舞われ、各地で被害が発生しました。本市においては17日夜に暴風警報が発令され、強風による転倒などで2名が軽傷を負ったほか、屋根トタンの剥離や物置小屋の倒壊など住家で12件、非住家で26件の建物被害が発生しました。さらに倒木による交通障害などが7件、看板の損傷や飛散などの被害が11件、南小学校の屋根トタン剥離など公共施設に関する被害が11件あったほか、農業関係でもビニールハウスの損壊が160棟、比内地鶏のひな330羽が圧死するなどの被害が発生しております。また、今回の被害では管理が行き届いていない空き家からの飛散物によるものが多かったことから、引き続き空き家の所有者に対して適正な管理を促してまいります。

3、熊本地震被災地への支援について。

まずは、4月14日に発生した熊本地震によりお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災地の一日も早い復旧を心から御祈念申し上げます。また、現地において救援や復興のための支援活動などに御尽力されている皆様に対し、深く敬意を表します。被災地への支援としましては、4月23日に本市が加入している全国青年市長会から熊本県宇土市への土のう袋の支援要請があり、同日5,000袋を緊急発送しました。道路事情が悪い中ではありましたが、翌々日の午後に無事到着したとの連絡をいただいております。また、25日には県から問い合わせがあった被災者受け入れのための公営住宅等について4戸の提供が可能であると報告しており、今後も要請に対し最大限対応してまいります。なお、本定例会に今回の支援

に係る関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

4、大館市遭難等対策委員会の設立について。

本市では、これまで田代地域に限定した山岳遭難を対象として大館市田代地域遭難対策協議会による活動を行っておりましたが、近年、高齢者の徘徊等による行方不明が多数発生していることから捜索等の範囲を市内全域とする対応が求められるようになりました。このような状況から市では4月1日に山岳遭難に加え、徘徊等による行方不明などにも対応するため副市長を会長とし、米代東部森林管理署長・大館警察署長などで組織する大館市遭難等対策委員会を設立しました。5月13日、24日にはいずれも雨池牧場付近で発生した遭難事案において捜索活動を行ったほか、6月4日には活動の一環としてタケノコとりに入山した方に遭難防止チラシを配布しております。今後も市遭難等対策委員会が中心となり、関係機関と連携を図りながら遭難防止の啓蒙・宣伝活動を推進するとともに、遭難等が発生した場合は迅速な対応に努めてまいります。

5、あきた未来づくりプロジェクトの取り組みについて。

本年3月25日、県庁で開催されたあきた未来づくり本部会議において、本市が提案するハチ公と歴史に触れる交流人口拡大プロジェクトの認定を受けました。事業期間は本年度から平成31年度までの4カ年を予定しており、旧小坂鉄道跡地に秋田犬に特化した「(仮称)ハチ公の駅」、ドッグラン的な機能を有した秋田犬ふれあい広場、100台以上の駐車可能な市民駐車場、多目的に使用できるイベント広場を整備するほか、秋田犬保存会と連携し秋田犬をふやす取り組みを実施する予定であります。また、この事業とあわせて大館駅周辺の再整備を進め、駅前ロータリー整備、駅前地区の浸水対策のほか、築後60年が経過している駅舎についてもJR東日本秋田支社との協働により観光交流施設をあわせ持った駅ビルとして改築を目指したいと考えております。この2つの事業の財源としては、県のあきた未来づくりプロジェクト交付金、合併特例債のほか、国土交通省都市局所管の交付金を予定しており、現在、来年度からの補助採択に向けて関係機関と協議中であります。また、本定例会に関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

6、総合戦略の進捗状況について。

本市では、総合戦略に基づき地方創生先行型交付金・地方創生加速化交付金等を活用し、これまで肉の博覧会事業・シングルペアレント移住定住促進事業・地域連携DMO形成事業などに取り組んでおり、また、保育料助成制度の充実、住宅リフォーム支援事業の拡充などさまざまな事業を実施しているところであります。さらに今般、国から地方創生推進交付金の詳細が示されたことから大館版C C R C事業のほか、北秋田市・小坂町との地域産品磨き上げ事業や県との連携による秋田犬を基軸とした観光戦略事業の3事業について、国へ計画書及び地域再生計画を提出する予定としており、本定例会に関係予算案を提出しておりますのでよろしく御審議をお願い申し上げます。また、4月1日に前佐賀県最高情報統括監の森本登志男氏をコー

ディネーターとして、建設・観光・まちづくり・産業・スポーツなどの各分野に精通した10人の政策アドバイザーで構成する大館市政策情報収集組織を設置したところであります。政策アドバイザーの皆様には地方創生に係るさまざまな交付金に関する情報提供のほか、地域連携DMO・地域産品の販路拡大、情報発信の拡充などに関し専門的的確なアドバイスをいただいております。今後もそれぞれの知見と人脈を生かし、迅速かつ幅広く情報を提供していただくなど、未来創造都市の実現に向け、さまざまな形で御支援・御協力をいただくこととしております。

7、平成27年度の決算見込みについて。

主な会計について御報告申し上げます。まず、一般会計の決算状況は、歳入総額397億7,500万円、歳出総額380億1,200万円で、歳入歳出差し引き額は17億6,300万円と見込んでおります。28年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は16億9,100万円で、26年度決算と比べ3億8,900万円ほどの減となる見込みであります。主な事業成果としては、市営向町住宅整備事業、公共施設再生可能エネルギー等導入事業、野菜ナショナルブランド化総合対策事業が完了したほか、道路・橋梁の改良事業、小・中学校の耐震対策事業、中央図書館整備事業などを計画的に実施しております。次に、各企業会計の収益的収支の決算状況につきましては、水道事業会計で1億2,000万円、工業用水道事業会計で400万円の単年度純利益を、また、下水道事業会計では8,100万円の単年度純損失をそれぞれ見込んでおります。病院事業会計については、総合病院で4億8,500万円、扇田病院で2,100万円の単年度純損失を見込んでおります。総合病院では、4月から7人の研修医を新たに迎えるなど医師確保を最重要課題として取り組んでおり、質の高い医療の提供による収益の確保とさらなるコスト縮減を図り、病院経営基盤の安定強化に努めてまいります。

8、乳幼児及び小・中学生福祉医療制度について。

現在、医療費の自己負担分を助成する福祉医療制度では、乳幼児及び小学生、ひとり親家庭の児童、高齢身体障害者及び重度心身障害者に対し、県と市が2分の1ずつを助成しております。このうち乳幼児及び小学生の福祉医療について、県は8月1日から助成対象を中学生まで拡大することとしており、これに合わせて市でも中学生まで対象を拡大し、乳幼児及び小・中学生福祉医療制度として助成してまいります。対象となる世帯には今月中に申請書類を郵送し、7月下旬に福祉医療費受給者証を送付する予定であり、本定例会に係る予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

9、大館市エコプラザの利用状況について。

3R普及啓発施設、大館市エコプラザが5月28日をもってオープンから1年を経過しました。4月末現在の来館者数は延べ6,078人、1日当たりの利用者数は25人で市民の関心の高さがあらわれたものと考えております。事業ごとの内訳を見ますと、再生品販売事業では自転車・スキーなど合計1,403件、1万636キログラムを販売し、資源物回収事業ではびん・雑誌・段ボー

ルなど4,991キログラムを回収。べんりステーション事業では粗大ごみ787件、5,468キログラム、埋め立てごみ156袋、929キログラムを回収しました。また、貸し館事業では、もったいない工房を小学校・事業所・町内会など266人の皆様に利用していただいております。今後のエコプラザの運営に当たっては、3Rの普及啓発はもとより市民にとって身近で利用しやすい施設を目指し、事業や業務の改善を進めたいと考えており、本定例会に指定管理者制度を導入するための条例改正案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

10、ねんりんピック秋田2017大館市実行委員会の設立について。

平成29年9月に本県で開催される全国健康福祉祭ねんりんピック秋田において、本市ではソフトテニス・ゲートボール・ソフトバレーボールの各競技の開催が決定しており、地域の関係機関・団体等の協力のもと万全な準備と円滑な大会運営を図るため、4月25日にねんりんピック秋田2017大館市実行委員会を設立いたしました。本市の大会では参加選手を約3,000人と見込んでおり、スポーツ交流大会の円滑な運営を初め、本市を訪れる方々をオール大館で歓迎するとともに、本市をPRする絶好の機会と捉えております。今後、実行委員会の中で開催に関する総合計画を策定し、本大会の成功に向け準備を進めてまいります。

11、大館市子育て世代包括支援センターの設置について。

妊娠期から子育て期までの切れ目ないきめ細やかな支援を提供し、子育て世代の安心感を醸成することを目的として、7月1日、保健センターに大館市子育て世代包括支援センターを開設します。愛称を「子育てサポート さんまある」としており、子育て家族を太陽（SUN）のように暖かく「まあるく」包み込むように支援する場所でありたいとの思いを込めております。これまでの母子保健事業に加え、新たに妊娠後期の妊婦と産後2週目の産婦に対し電話相談や産科病棟訪問による育児支援の情報提供を行うほか、心身の不調や育児不安などを抱えている方に支援プランを作成し手厚い支援を行います。また、祖父母などを対象として子育てに関する講座を開催するなど、地域全体で子育てを支援する環境づくりを目指すこととしております。今後も、子育て支援機関や関係団体と連携を図りながら次代を担う子供を安心して産み育てるための支援に努めてまいります。

12、農作物の生育状況等について。

基幹作物である水稻は、平年どおり4月10日から播種作業が始まり4月17日に盛期を迎え、その後の好天から平均気温・日照時間も平年並みに経過したことにより出芽ぞろい・苗の生育ともにおおむね良好であります。耕起作業は4月に降雨量が多かったことから圃場が乾きにくい状態にあったものの、4月下旬の好天により田植え作業は5月8日ころから始まり、終期も5月29日と平年どおり作業は進みました。野菜については、山の芋の定植作業は平年より3日早い5月1日ころから始まり、平年並みの今月上旬までに終了する見込みです。アスパラガスは春どりが平年より5日遅い5月10日から収穫が始まり、今月上旬までに終了する見込みです。また、ネギの定植作業は平年どおり4月20日ころから始まり、今月上旬までに終了する見

込みです。果樹は、3月の気温が平年より高めに推移したことにより発芽は早く、梨は平年より3日早く5月3日から、リンゴも3日早く5月8日から開花が始まり、開花量は十分な状況にあります。今後も気象動向を見きわめ、農作物の管理を徹底するよう注意喚起するとともに、JAなど関係機関と連携して対応してまいります。

13、植物工場の稼働状況について。

バイテックファーム大館が釈迦内産業団地に建設を進めていた、県内最大級となる完全人工光型の植物工場の竣工式が4月21日にとり行われました。無農薬栽培の安全・安心な大館産リーフレタスの販売が5月9日から地元スーパーで始まり、現在は関東地区のコンビニエンスストアにおいても販売されております。現在の稼働率は約10%、地元雇用者は20人ですが、今後段階的に稼働率を引き上げるとともに、地元雇用者をふやしながら県内はもとより首都圏等への販売拡大を図り、本年度中にフル稼働体制としていく計画となっております。この取り組みは、地元農業者と異業種から参入する企業等による新たな農業経営モデルとして、農業の成長産業化を推進し地域農業の発展に大きく寄与するものと期待しております。

14、地域経済・雇用対策等について。

本年4月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は1.15倍と、昨年同期との比較では0.17ポイント増加しており、引き続き高い状態で推移しております。また、今春の新卒者の就職状況については、市内の高校、秋田職業能力開発短期大学校・秋田看護福祉大学の就職率がいずれも100%となり5年連続で全ての新卒者が就職できました。一方、中小企業在職者や求職者、高校生のスキルアップを支援する資格取得支援事業では、今年度も引き続き国家資格等の取得経費の2分の1、最大10万円を補助しております。昨年度の実績は221人・39種類の資格取得に対し総額800万円の補助を行いました。市の制度融資であるマル大及びマル大小口については、保証料の全額補給に加え融資資金に対する利子の2分の1を3年間補給しております。特に、マル大については昨年4月から融資限度額を2,000万円に倍増し、最長貸付期間を運転資金は7年、設備資金は10年に延長したところ、対前年度比で件数が1.5倍の237件、融資額は2.7倍の23億5,000万円の実績となっております。条例に基づく指定工場については昨年11月に十二所地区で秋田比内やが投資額約4,300万円、新規雇用5人で冷凍保管庫棟及びきりたんぼ製造棟の操業を開始しており、12月には花岡地区でエコシステム秋田が投資額約27億円、新規雇用19人で低濃度PCB廃棄物無害化処理工場を、釈迦内地区で第一日昭工業が投資額約3億円、新規雇用4人で第3工場の操業を開始しております。これにより、4月1日現在の指定工場は70事業所、従業員数4,940人で昨年同期比285人増となり、指定工場から多くの地域雇用をいただいておりますことに対し、改めて感謝申し上げます。また、新規創業者への支援として新たに大館市創業支援補助金制度を創設しました。この制度は25万円を上限として創業に要する経費の2分の1を補助するものですが、県外移住者・女性・40歳未満などの項目ごとに25万円を加算し最大で100万円を補助することとしており、より多くの創業につなげていきたい

と考えております。最後に、小森山ミニ工業団地の3,383平方メートルについて、6月1日付で株式会社羽沢建材と売買契約を締結しました。これをもって平成元年に分譲を開始した同団地は完売となりましたことを御報告申し上げます。

15、一般社団法人秋田犬ツーリズムの設立について。

4月1日、大館市・北秋田市・小坂町の3市町が連携して、地域連携DMO一般社団法人秋田犬ツーリズムが設立されました。その後、上小阿仁村からも加入の申し込みがあり、理事会の承認を受け加入していただくことになりました。この組織は世界的に知名度の高い秋田犬をキーワードに、このエリアならではの自然資源、産業遺産、食や産業を国内外にアピールし、観光客の来訪や滞在の促進を目指すエリアブランドを構築しようとするものです。また、官民連携・地域連携・政策間連携など幅広い関係者との合意形成により、既存の行政の枠組みではなし得なかったことに挑戦し課題解決を図ろうとするものでもあります。これと同時に秋田犬ツーリズム連絡調整協議会も設置したところであり、秋田犬ツーリズムが進める観光地域づくりに関し、行政が中心となって連絡調整・合意形成を図りながら広域連携による観光振興につなげることであります。今後は動画や画像を活用した積極的な情報発信や各種情報収集・分析、受け入れ体制の整備などスピード感のある取り組みを進めてまいりますので、御理解・御協力をお願い申し上げます。

16、春季イベントの開催について。

(1)大館桜まつり。

4月20日から5月3日までの14日間にわたり開催され、約2万5,000人の来場者でにぎわいました。期間中は晴天に恵まれ多くの方々に桂城公園の桜をお楽しみいただきました。また、5月3日の第134回秋田犬本部展には178頭の秋田犬が出展され、ヨーロッパやアジアからのお客様も含め多くの秋田犬ファンを魅了しました。

(2)秋田県・大館秋田犬&男鹿なまはげフェア in 銀座。

5月14日、15日、東京都銀座の紙パルプ会館を主会場に秋田県の観光資源や地場産品を紹介するイベントを開催しました。14日は、歩行者天国となった銀座中央通りを秋田犬25頭と一緒に佐竹知事、渡部男鹿市長・門脇仙北市長と私が散歩を行い本市の魅力をPRしました。また、紙パルプ会館では大館への移住相談、秋田犬の触れ合い体験、山田集落の皆さんによる旬の山菜販売、陽気な母さんの店によるきりたんぼ鍋などの販売を行ったほか、秋田県・大館・男鹿の食材を楽しむ夕べでは、銀座周辺の飲食店関係者の皆様にお集まりいただき、大館の比内地鶏や山菜、男鹿の海産物の食材を使った料理を楽しんでいただきました。

(3)第30回田代名産たけのこ祭り。

6月5日、田代多目的運動広場で開催され、田代岳産の生タケノコや大館さくら豚入りたけのこ汁の販売などのほか、ステージイベントでは恒例のたけのこ汁早食い競争や生たけのこ皮むき競争が行われました。ことしは大相撲の豪風関に御来場いただき、地元の田代ふるさとチ

ームとの綱引き勝負や大相撲クイズも行われ多くの来場者でにぎわいました。

17、移住・定住施策について。

4月に新設した移住交流課は、まさにIターン・Jターン・Uターン施策を展開する移住専門部署であり県内初の試みであります。市としては、まずは大館に興味を持ってもらい、大館を好きになってもらって移住体験などをしていただき、そして、納得してもらった上でずっと住み続けていただくことを目標としております。大館に興味を持ってもらえるよう、5月5日には来場者数が約100万人の銀座柳まつりにブースを出展して大館の魅力をPRするとともに移住相談を受けております。また、5月14日、15日の両日は秋田県・大館秋田犬&男鹿なまはげフェア in 銀座に出展し、5月28日には鹿角市と連携しながら東京駅を出てすぐそばの京橋で移住フェアを開催しました。一方、昨年度から不定期に開催していた移住者のための交流会は、あす6月8日に今年度1回目の交流会を開催することになっております。この交流会では移住した方々が集まりお互いの情報を交換するとともに、市も参加して移住者の困り事の解消や軽減を目指しているもので、今後は定期的な開催を予定しております。市では、引き続き本市の強みである高い求人倍率、高い子供の学力などをPRしながら、移住・定住に向けた情報発信と移住者へのきめ細やかな対応に取り組みたいと考えており、本定例会に関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

18、平成27年度の除雪状況等について。

27年度は降雪が少なく推移し、累計降雪量は過去10年間の平均より158センチメートル少ない321センチメートル、最大積雪深も豪雪だった前年度の3分の1程度である40センチメートルとここ数年にない少雪となりました。除雪委託業者の7割以上が出動した回数は大館・比内・田代地域で延べ30回となり前年度のほぼ半減となったものの、山間部の降雪や吹きだまりの対応などは例年並みに必要であったことから、除排雪経費は約4億4,000万円となっております。また、除雪に係る課題や要望等は前年同様に数多く寄せられ、高齢化に伴い、ますますきめ細かな除雪対応が求められております。本年度も除雪計画に基づいた初期除雪の徹底や、固定資産税の減免制度による雪寄せ場の確保などを実施するとともに、新たに除雪車運行管理システムを導入し、的確かつ効率的な除排雪に努めてまいります。一方、少雪に伴う早い雪解けの影響から市道の舗装の損傷が例年より早く、3月は穴埋めなどの応急処置に努め、4月から本格的な舗装補修を実施したところでありますが、まだ補修が行き届いていない状況にあることから本定例会に関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

19、平成28年度の児童生徒数等について。

本年度、市立小・中学校に通う児童生徒の数は前年度より128人少ない4,851人で過去最少となりました。このうち新入学者は小学校が510人、中学校は496人となっております。また、5月1日現在の学級数は小学校が166、中学校が75の計241学級となっております。一方、教員に

つきましては特別支援学級がふえたことなどにより、前年度より5人多い443人が配置されました。また、学校関係者から特に要望の強かった教育支援員につきましても3人多い50人を確保しております。1人たりとも置き去りにしない教育をモットーとして、きめ細かな体制によりふるさとを担う未来の大館市民の育成に努めてまいります。

20、山田記念ロードレース大会及びチャレンジデーについて。

4月29日、64回目となる山田記念ロードレース大会が長根山陸上競技場を発着点とする市街地コースで開催されました。当日は招待選手として世界陸上マラソン優勝者の浅利純子氏、リオ・オリンピック女子マラソン香港代表のユー・キ・チン氏をお迎えし、福岡県や高知県からの参加者を含む1,570人が小雨まじりのあいにくの天候の中、市内を力強く走り抜けました。また、5月25日には4回目の挑戦となるチャレンジデーが山梨県甲斐市を対戦相手に開催されました。今回はフットサル大会やスタンプラリーなど新規イベントを実施したほか、あらゆる年代が参加しやすいメニューを整え、市民一丸となって取り組みました。結果は参加率が市65.3%、甲斐市87.9%となり勝利を逃しましたが、参加率50%以上の自治体に贈られる金メダルを4年連続で獲得いたしました。両イベントの開催に当たり御協力をいただいた多くの市民・団体・企業の皆様に改めて感謝申し上げます。

21、小型無人飛行機ドローンの寄贈について。

4月28日、東光鉄工株式会社から防災対策や災害時の支援を初め、各種事業における活用の検証を目的として、秋田県及び県内消防本部に小型無人飛行機ドローン22台が寄贈され、うち1台が本市消防本部に寄贈されました。寄贈されたドローンは体験用ではありますが、飛行範囲が半径500メートル、飛行時間は約15分、固定焦点レンズ付きのカメラを搭載しておりスマートフォンによる映像確認ができるほか、内蔵しているGPSにより通信信号が失われると離陸地点に戻る機能も備えております。今後、職員による操縦訓練を重ねるとともに、過去の災害データをもとにドローンを使用した訓練を行い、災害時における活用方法や効果を検証してまいります。

22、地域包括ケア病棟の稼働状況について。

市立総合病院では4月から地域包括ケア病棟を導入しました。この病棟には通常の医療スタッフに加え、理学療法士・退院支援看護師・医療ソーシャルワーカーを配置しており、急性期を過ぎてもケアが必要な患者さんが安心して日常生活に復帰できるよう、リハビリや退院に向けての相談や支援を行っております。現在、利用患者数は40人前後で推移しておりますが、病院から自宅や施設への移行が円滑に不安なく進むよう心がけながら、院内外への周知を図ることで利用者の拡大を図ってまいりたいと考えております。

23、アグリビジネス支援に関する協定の締結について。

6月2日、大館市・北都銀行・株式会社あきたベジフルサポートの3者によりアグリビジネス支援に関する協定を締結いたしました。この協定は3者が相互の人的・知的資源を活用しな

がら農業経営に対する支援を行うことによって、農業の活性化に寄与することを目的としており、枝豆を初めとした農産物の販路拡大と生産拡大、高品質化とブランド化、農産加工品の開発・製品化など、3者の強みを生かしながらアグリビジネス全般にわたって連携・協力するものとなっております。今後、この協定を活用して農商工連携による6次産業化の促進を図るとともに、農家所得の向上や持続可能な農業・農村の実現に向けた各種施策を着実に進めてまいります。

続きまして、提出いたしました議案につきまして主な内容を御説明申し上げます。

報第1号は、専決処分の報告についてであります。

これは、本年3月4日に岩瀬字越山にある消防団田代第8分団車庫からの落雪により、隣接する小屋の屋根及び外壁の一部が破損した件に係る専決処分であります。この件につきましては相手方に誠意を示しながら解決に当たり、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として専決処分をさせていただきましたので、御報告申し上げるものであります。

報第2号は、国の27年度補正予算に対応して翌年度への繰り越しを御承認いただいた事業など合わせて22件、総額10億9,131万8,990円を本年度に繰り越したことに係る平成27年度大館市一般会計繰越明許費繰越計算書であります。

報第3号は、御成町南地区土地区画整理事業の工事請負費等を繰り越したことに係る平成27年度大館市都市計画事業特別会計繰越明許費繰越計算書であります。

報第4号は、米代川流域下水道事業建設負担金について、工事の一部が年度内に終了できず、市の負担金を繰り越したことに係る平成27年度大館市下水道事業会計予算繰越計算書であります。

報第5号は大館市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について、**報第6号**は一般財団法人大館市文教振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について、**報第7号**は株式会社県北環境保全センターの経営状況を説明する書類の提出についてであり、いずれも市が出資する法人の平成27年度の経営状況及び28年度の事業計画等について御報告申し上げます。

各出資法人の損益の状況につきましては経営状況に関する説明書に記載しておりますとおり、土地開発公社は当期純利益が446万3,048円、文教振興事業団は当期一般正味財産増減額が1,151万7,556円の増、県北環境保全センターは当期純利益が742万1,996円となっております。

報第8号は、株式会社田代ふるさと振興公社の経営状況を説明する書類の提出についてであります。

田代ふるさと振興公社は、本年3月31日をもって、たしろ温泉ユップラの指定管理業務を終了し、去る5月20日の株主総会において公社の解散が決議され、現在、清算業務を行っております。

報第9号は、放棄した債権の報告についてであります。

これは、大館市債権の管理に関する条例第6条第1項の規定に基づき、平成27年度に権利を放棄した市の債権につきまして、同条第2項の規定により御報告申し上げるものであります。

認第3号及び認第4号は、専決処分の承認についてであります。

これらは、地方税法等の一部を改正する等の法律が公布されたことに伴い、本市におきましても条例を改正し、本年4月1日から施行する必要がありましたことから専決処分をさせていただいたものであります。認第3号は大館市市税条例等の一部を改正する条例についてであり、主な改正の内容としましては、法人市民税では平成29年4月1日以後に開始する事業年度の法人税割について税率12.1%を8.4%に引き下げることとしたこと、固定資産税では27年度まで実施した再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準の減額特例措置について、わがまち特例の導入により2年間延長することとしたこと、軽自動車税では環境負荷の小さい車両についての税率を軽減するグリーン化特例を28年度末まで1年間延長した上で、29年度からは環境性能割を導入することとしたことなどであります。また、認第4号は大館市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてであり、改正の内容としましては国民健康保険税の課税限度額を基礎課税分については52万円を54万円に、後期高齢者支援金等課税分については17万円を19万円にそれぞれ引き上げたこと、また、低所得者の負担軽減を図るため5割軽減及び2割軽減の対象となる軽減判定所得の基準額を引き上げたことなどであります。

認第5号は、平成27年度大館市一般会計補正予算（第11号）に係る専決処分の承認についてであります。

これは、国の27年度補正予算に伴う地方創生加速化交付金対象事業の内示が本年3月18日にあったことを受け、地域連携DMO形成事業等に係る予算、総額8,055万5,000円を追加することについて地方自治法第179条第1項の規定に基づき3月22日付で専決処分させていただいたものであります。

議案第74号は、大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案であります。

これは、国が示す家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正され、小規模保育事業所等における職員の配置について特例が設けられたこと、及び避難用設備の構造要件が変更されたことから、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第75号は、大館市エコプラザに関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、大館市エコプラザについて平成29年4月から指定管理者制度を導入するものとして、指定管理者が行う管理の基準、業務の範囲、指定管理期間等を条例に規定するとともに一部条文の整備をしようとするものであります。

議案第76号は、大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案であります。

これは、国が示す放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部が改正され、

放課後児童支援員の資格要件として義務教育学校が追加されたことから、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第77号は、大館市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、大館市公共下水道事業計画を変更し川口地区を計画処理区域に加えたことに伴い、条例で定める計画面積等について所要の措置を講ずるものであります。

議案第78号及び**議案第79号**は、財産の無償譲渡についてであります。

議案第78号は町内会館として利用されている市の普通財産を粕田町内会に無償で譲渡しようとするもの、また、議案第79号は柄沢部落会に防災倉庫として市の普通財産を無償で譲渡しようとするものであります。

議案第80号は、財産の取得についてであります。

これは、個人番号を扱う基幹業務システムの安全性を高めるため、サポートが終了しているウィンドウズXPのパソコン120台を更新しようとするもので、この物品の購入については予定価格が2,000万円以上であることから地方自治法及び本市関係条例の規定により、議会の議決をお願いするものであります。

議案第81号は、和解及び損害賠償についてであります。

これは、字新町地内の市道大町山館線において歩道が陥没しアーケードが倒壊した件につきまして、大町商店街振興組合と和解し損害賠償をしようとするものであります。

議案第82号は、字の区域の変更についてであります。

これは、沼館地区で実施しておりました農地集積加速化基盤整備事業が本年度で完了することから換地計画区域内の字を整理するため、字の区域を変更しようとするものであります。

議案第83号は、平成28年度大館市一般会計補正予算（第1号）案であります。

今回の補正は、歳入歳出とも1億2,366万7,000円の追加で、補正後の予算総額は321億5,707万1,000円となる見込みであります。主な内容としましては、あきた未来づくりプロジェクト事業費を追加、大館版C C R C事業費・地域産品磨き上げ事業費を計上したほか、保育所緊急整備事業費補助金・中学生福祉医療費等、子育て支援のための事業費を計上したものであります。また、国の27年度補正予算成立に合わせて専決処分等により計上させていただいた事業費で、当初予算計上分と重複することとなったものにつきまして減額補正させていただく内容となっております。

さらに、第2条第2表に債務負担行為の補正を、第3条第3表には地方債の補正を、それぞれ御提案申し上げております。

議案第84号は、平成28年度大館市財産区特別会計補正予算（第1号）案であります。

主な内容としましては、各財産区勘定における土砂売り払い収入を各財産区財政調整基金に積み立てようとするものであります。

議案第85号は、平成28年度大館市病院事業会計補正予算（第1号）案であります。

今回は収益的収入及び支出のうち支出のみの補正で、補正後の予算総額は116億8,126万8,000円となる見込みであります。

このほか、第3条に債務負担行為の追加をお願いしております。

議案の概要につきましては、以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。**(降壇)**

○**議長（仲沢誠也君）** これより、ただいまの上程議案等に対する質疑に入ります。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**議長（仲沢誠也君）** なしと認め、質疑を終結いたします。

○**議長（仲沢誠也君）** 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、6月13日午前10時開議といたします。

本日はこれにて散会いたします。

午前11時11分 散 会
